

のぞみんごう

2021年12月
令和3年冬号

総合リハビリテーションセンター
救護施設 のぞみの家

〒651-2181 神戸市西区曙町1070
TEL (078) 927-2727



総合リハビリテーションセンター
福祉管理部長兼のぞみの家所長

う え だ
植 田 勝 明

ごあいさつ

私が所長に就任して半年以上がたちました。この間、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が繰り返され、飲食店営業や府県を越える移動の自粛要請等が続き、社会全体が活気を失い、元気をなくしました。ようやくここにきて、感染状況は落ち着き、以前のような日常生活を取り戻しつつあります。

のぞみの家では、施設一丸となって徹底した感染対策に取り組んだ結果、施設利用者の皆さんと職員には誰一人感染者を出すことはありませんでした。また、感染拡大防止の救世主として期待されたワクチン接種については、医療従事者をはじめとする関係者の皆さんの協力もあって、希望するすべての方に接種することができ一段落ついたところです。今後「第6波」が懸念されるなか、一日も早い治療薬の開発に期待を寄せています。

長期化する新型コロナウイルスの流行とこれに伴う新たな生活様式等に伴い、ストレスを抱える方も見受けられますが、こうしたコロナ禍では、カラオケや生け花クラブ、日帰り旅行など、日頃施設利用者の皆さんが楽しんでおられる活動も、感染防止のため、やむなく中止せざるを得ませんでした。医務や支援員等職員がそれぞれ専門の立場から助言しつつ、連携してサポートするための方策を日々話し合い、実践しているところです。

その一つが、今年8月の夏祭りです。今年初めて開催したこの大会では、食堂でカレーやた焼き、唐揚げ、スイカなど、専門店から取り寄せたこだわり料理や旬の食べ物に舌鼓を打ちながら、魚釣りゲームや花火も楽しんでもらいました。また、同時期に、以前から要望の多かった温冷配膳車を導入し、1日3食の料理をおいしく召し上がっていただいています。コロナ禍で先が見えない状況ではありますが、これからも職員一同、施設利用者の皆さんのためにがんばってまいります。

◇のぞみの家の現状◇

令和3年10月1日 現在

○年齢等

年齢構成	男 性	女 性	計
20代	1人	1人	2人
30代	2人	0人	2人
40代	3人	4人	7人
50代	15人	8人	23人
60代	32人	13人	45人
70代	10人	10人	20人
80代	2人	2人	4人
計	65人	38人	103人
男性平均年齢	61.4歳（最年少24歳、最年長89歳）		
女性平均年齢	62.8歳（最年少29歳、最年長85歳）		

○利用期間

期 間	男 性	女 性	計
1年未満	12人	8人	20人
1年以上5年未満	29人	11人	40人
5年以上10年未満	12人	10人	22人
10年以上15年未満	10人	5人	15人
15年以上20年未満	0人	0人	0人
20年以上25年未満	0人	3人	3人
25年以上	2人	1人	3人
計	65人	38人	103人
平均利用期間	5年4ヶ月	7年0ヵ月	6年0ヶ月

○退所の状況

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
病 院	2人	7人	6人	5人
居 宅	8人	8人	6人	9人
死 亡	3人	3人	2人	2人
他施設等	9人	7人	4人	8人
計	22人	25人	18人	24人



【中 庭】



【外観：（南側）】



【のぞみファームで採れたさつまいも】



【脳トレ】



【ドッグセラピー】



【消火器訓練】

利用者様の声…

利用者様 2 名に

- ① コロナ禍で頑張ったこと、困ったことは？
 - ② コロナが落ち着けばしたいことは？
- の 2 点を質問しました。

きのした けいこ
木下 恵子さん

- ① 手洗いうがいを皆が頑張っているの、コロナにならずすんでいます。
- ② 外食がしたいです。動物王国に行きたいです。

おおみち たけお
大道 武雄さん

- ① 会合や外出に行けなくて困っています。マスクを頑張って付けるようにしています。
- ② 外食に行きたいです。



支援員の想い…

『新しい生活様式』と言われ一年以上が経ちましたが、こまめな手洗いや消毒など今ではすっかり感染症対策が生活の自然な一部となっています。のぞみの皆さん日々の協力ありがとうございます。

コロナが落ち着いたら、また皆さんで満開の桜の下でお花見を楽しみたいですね。寒い季節ですが、「手洗い！うがい！元気！元気！」で乗り越えましょう！

支援員 はこね ようすけ
箱根 洋介

私はのぞみの家に電車とバスで通勤しています。なので、他の人よりも多くの人と接触する機会が多いため、コロナウイルスを持ち込まないように、手洗いうがいや手指消毒を人一倍心掛けています。

コロナ禍の終息はいつになるかわかりませんが、終息した際には、桜や紅葉など、季節の移り変わりを皆さんで見たいですね！

今は終息することを願って、マスクの着用・手洗いうがいを徹底していきましょう！

支援員 ありよし りく
有吉 陸



特集“食”の魅力

温冷配膳車を導入しました



以前より利用様から「温かい食事が食べたい」と希望がありました。
今年度より、温冷配膳車を導入し、適温給食に取り組んでいます。
より安心安全で温かい食事の提供に努めていきます。

～大腸がん予防のための食生活～

管理栄養士 みちもと 道本 ちはる 智晴

高齢社会を迎え、大腸がんはここ数十年で患者数が増加し続けています。

その背景には、「食生活の欧米化」があるとされていますが、

- ① 特にハム・ソーセージなどの加工肉と牛肉や豚肉などの肉類を多量に食べ続けている。
- ② 野菜や豆、きのこ、海藻、芋、穀類の摂り方が少なく、これらに含まれる食物繊維の摂取量が極端に少ない。
- ③ 肥満である。過度の飲酒をする。運動不足である。たばこを吸う。

以上のような生活習慣の方は大腸がんのリスクが上がる可能性があることがわかっています。

大腸がんを予防するためにも食物繊維が豊富な食材を使った食事をバランスよく食べましょう。



「ある一日の食事」

朝食



- ・ご飯
- ・ツナポテトサラダ
- ・キャベツと玉ねぎの味噌汁
- ・ふりかけ
- ・バナナ
- ・牛乳

昼食

(選択メニュー A)



- ・ご飯
- ・サバの味噌煮
- ・南瓜のいとし煮
- ・豆腐のスープ
- ・ババロア

(選択メニュー B)



- ・ご飯
- ・肉団子のケチャップ炒め
- ・南瓜のいとし煮
- ・豆腐のスープ
- ・ババロア

夕食



- ・ご飯
- ・さわらの照り焼き
- ・いり豆腐
- ・もやしとワカメの味噌汁

食事に関するアンケートを実施しました。

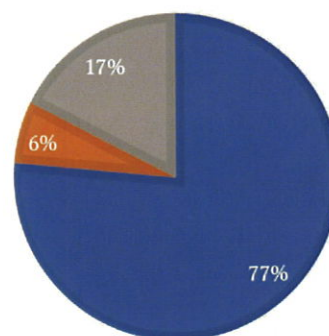
(令和3年10月)

食事に関するアンケートについて利用者様を対象に実施しました。食事の温かさについて、前回5月に実施した食事アンケートでは、「温かい」、「やや温かい」との回答は平均47%でしたが、今回は平均77%の利用者様から「温かい」、「やや温かい」と回答を頂きました。

「ふつう」の回答は37%から21%に、「冷たい」の回答は14%から2%に減少しました。温冷配膳車を導入したことにより、温かい食事が提供できるようになった結果だと思います。

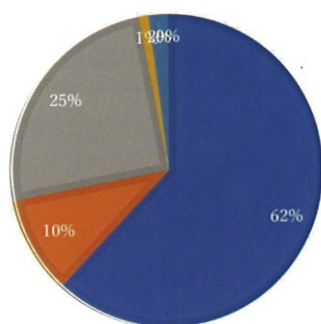
ご飯や粥はあたたかいですか？

■温かい ■やや温かい ■ふつう ■やや冷たい



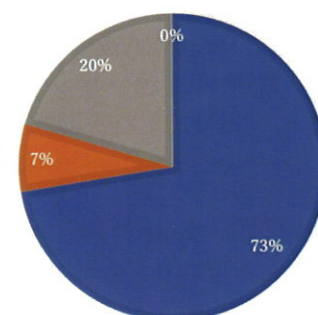
おかずはあたたかいですか？

■温かい ■やや温かい ■ふつう ■やや冷たい ■冷たい ■無回答



味噌汁はあたたかいですか？

■温かい ■やや温かい ■ふつう ■やや冷たい



日帰り旅行

今年度は昨年度に引き続き大型スーパーへの買い物旅行に加え、資料館への歴史探索ツアーを実施しました。

大型スーパーへの買い物旅行では、それぞれ希望する日用品やお菓子、衣類等の商品を購入しました。利用者様からは「自分の買いたい物が買えてよかった」といった声が聞かれ、各々楽しまれた様子でした。

歴史探索ツアーでは資料館への見学に行きました。歴史ある資料を体感し、学ぶことができました。



夏祭り実施しました



昨年度は新型コロナウイルスが流行した当初であり、夏祭りを含めて各種行事の中止や外出禁止と利用者様には我慢をお願いする1年でした。

今年度も自粛は続いています。3密の回避・感染症対策の徹底をおこない、昨年度よりは制限が緩和しています。

そのお陰で夏祭りの開催もできました。

自粛生活により単調になりがちな日々でしたが、屋台やミニゲーム、花火の打ち上げと久々にすることが多く利用者様も楽しめたかと思います。

今後も感染症対策を徹底しながら、少しずつ行事を再開していき、彩のある施設生活を送れるよう職員一同取り組んでいきます。



社会生活力プログラム

「衣類をキレイにたたむことが苦手！」という話から、誰でも簡単に衣類をたたむ方法はないか？ということのを皆で考え、段ボールを使用し、片麻痺の方でも簡単に衣類をたためる自助具を作成、実践しました。

参加者からも、「自分でたたむよりキレイだし、時間もかからない」、「片手でも簡単にできてうれしい！」という意見がありました。

利用者様の生活ニーズに対して、参加者が共に考え実践し、自分の生活スタイルに合ったやり方を見つけていけるように今後も活動できるよう努めていきます。



今後の行事予定

- 12月 夜間想定避難訓練 年忘れ会
- 1月 非常食提供訓練
- 2月 総合防災訓練 節分会

居宅生活訓練事業

居宅生活訓練事業では清掃、調理、金銭管理や単独受診など単身生活に必要なスキルの確認や練習をしています。特に調理に関しては、調理経験が全くない方、ブランクが空いている方が多いため、訓練メンバー合同で調理実習をおこないました。メンバーで献立を考え、予算内で考えながら買物をし、実際に調理をしました。経験者の方が未経験者の方に食材の選び方や野菜の切り方をアドバイスするなど、互いに協力し合って無事に『肉じゃが定食』を作ることができました。「おいしくできてよかった」「包丁の使い方が不安だったけど無事にできて安心した」等との声が聞かれました。



通所事業

よしかわ かずこ

吉川量子様の退所後の生活について

のぞみの家を令和3年8月16日に退所し、単身生活をはじめました。

9月9日からのぞみの家の通所にも通いはじめました。

今は、生活訓練事業所に週3回通い、いろいろな訓練を受けています。

これまでの訓練で一番印象に残ったのは、餃子を作った時のことです。

餃子を作るのに必要な材料を、みんなで相談し買い物に行きました。

みんなで頑張って作った餃子は、とてもおいしく上手に作れました。

みんなで一緒に食べたことも印象に残っています。

また、週に2回ヘルパーさんに来てもらい、掃除と調理を一緒にしています。

調理の材料は、自分で準備しています。ヘルパーさんが困らないよう買い物をします。

のぞみの家には、木曜日の社会生活力プログラムに参加しています。

のぞみの家の利用者さんに会うのが楽しみです。

一人暮らしを初めて、不安なこともあります。周りの人に伝えることで安心して生活をしています。



令和3年度 上半期を振り返って・・・

支援課長 さえぐさ ちかこ 三枝 知子

コロナ禍での自粛生活も2年目となり利用者の皆様やご家族の皆様には、外出、外泊、面会の規制など、たいへんご不便をおかけしております。

皆様のご協力があったて、現在まで感染が発生することなく、過ごすことができています。さて、この半年間を振り返りますと、まずはワクチン接種に翻弄されたことが挙げられます。

利用者様のワクチン接種については、協力医療機関である偕生病院のご協力を得て、10月中旬には全利用者様の接種を終了することができました。途中、ワクチン不足の影響を受け、延期を余儀なくされましたが、おおむね順調に行うことができました。

次に挙げられるのは、のぞみの家夏祭りの開催です。昨年度に引き続き、地域との交流行事はすべて中止となり、外出等も自粛している中、施設内でささやかなお祭りを開催しました。

食堂と会議室をお祭り会場に仕上げ、屋台やゲームコーナーを準備し、ほんのひと時ですが、利用者様も職員も楽しい時間を過ごすことができました。

中庭で打ち上げ花火を上げたことも良い思い出です。

これから下半期にかけ、感染症予防、自粛生活は継続していくこととなりますが、安全に配慮しながら生活に張りがあり、楽しい時間も過ごせるよう、工夫していきたいと思います。今後もご協力をよろしくお願いいたします。

面会について

やむを得ないご事情がある場合を除いて、利用者様への面会は制限させていただいています。その代わり次のような対応を行っていますので、ご理解をお願いします。

○ パソコンによる面会

利用者様のご家族を対象として、ご自宅や施設の面談室にあるパソコンを利用し、利用者様とのWEB面会を行っています。くわしくは、「のぞみの家」にお問い合わせください。

のぞみの家のホームページをリニューアルしました。 ぜひご覧ください。

<https://www.hwc.or.jp/nozomi/>

編集後記

世間では新型コロナウイルス感染症に関するニュースで、中々以前のような生活に戻りにくい現状があります。いち早く元の生活に戻って欲しいと願うばかりです。そのような状況下でも、周りの方々や支えて下さる方々に感謝の気持ちを持って日々生活しております。

このような状況下でも、前を向いて日々協力しながら頑張っていきます。

編集委員一同

コロナには
負けません!

※65歳以上(平日)
1泊2食6,800円~

親音の湯

浜坂温泉保養荘
〒669-6702 兵庫県美方郡新温泉町浜坂775
☎0796-82-3645まで